

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	71150	道路河川等整備推進事務費		担当課	基盤整備部 建設課	内線	2331
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通
	項	1	土木管理費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する
	目	1	土木管理費		施策	1	機能的な道路ネットワークの形成
根拠計画							
実施計画事業 国・県道等整備促進事業							
市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります。産業振興、交通安全、生活支援、防災等の幅広い観点から、高速交通網、地域連絡主要道路等の整備促進を国、県に対し強く要望します。							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 国、県道の整備を促進することで、市道とのより良い道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 河川を始め災害から市民の生命財産の保護を図る。 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 同盟会を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた提言活動の実施 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績		<ul style="list-style-type: none"> 市長公約及び町内要望で求められている社会基盤施設の整備を図るため、国、県等へ3回(7月、11月、1月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 				
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	要望回数	回	目標値	3	3	3
		算出根拠等		実績値	3	3	-
				達成率(%)	100	100	-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	補足事項						
<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤施設の整備は、飛騨地域が抱える課題であり、飛騨首長連合の活動として取り組まれている。 関係機関においては、飛騨地域の喫緊の要望として捉えられている。 							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	3,817	3,157	3,566	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源			3,817	3,157	3,566		
受益者1件当たり(円)		(A/B)	41	34	39		
コスト指標		受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか 社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか 	A (2) ニーズが高い	A	喫緊な地域の要望として、社会基盤施設の整備が提出されており、生活環境の安全性、快適性の向上にむけ、関係機関への要望活動に対する要求度は高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市が事業主体であることは妥当か 国・県・民間の活動と競合していないか 	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	市が住民からの要望を受け、国県など関係機関への提言主体となることは妥当である。飛騨地域の共通な要望として3市1村が一体となり、効果的な要望活動の実施に努めている。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 目的とする成果があがっているか 成果指標などの目標値の達成状況はどうか 	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	整備費予算は、関係機関の財政事情に大きく左右されることから、事業の必要性や地域の切実な願いを、関係機関に継続して提言を行う活動は有効である。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 最小限のコストで事業を実施できているか 委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか 国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか 受益者負担は適正か 	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	同盟会目的がほぼ達成された組織については、組織の統廃合や負担金額見直しについて、関係自治体との検討が必要である。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか 総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか 市長公約の実現を図る上で有効に機能したか 	A (2) 効果があった	B	継続した要望活動により、関係機関において実施中の事業が促進されている。新規路線採択は少ないが、財政事情による減少傾向の予算である現状下では、提言活動は重要であり、今後の成果につながる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 各同盟会活動の必要性や役割を検証し、活動内容の見直しなどの検討を行い、同盟会負担金の低減を図る。
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤施設整備の早期完成に向け、関係機関との連携した提言活動の実施に努める。 同盟会活動の効率的で効果的な実施に向け、関係機関と活動見直しについて調整を図る。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 目的をほぼ達成した同盟会の廃止と、他の同盟会への事業継承
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 社会基盤施設の早期整備に向け、関係機関と連携した提言活動の実施に努める。 同盟会活動の効率的で効果的な実施に向け、関係機関と活動見直しについて調整を図る。 									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	(担当課評価に同じ)									

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	72300	道路新設改良事務費		担当課	基盤整備部 建設課	内線	2331
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通
	項	2	道路橋りょう費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する
	目	3	道路新設改良費		施策	1	機能的な道路ネットワークの形成
根拠計画							
実施計画事業							
市長公約							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地域道路網の安全性と信頼性を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備に必要な用地交渉を円滑に行う。 現場監理用の車両を確保し、工事の適度な進捗管理を行う。 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	道路新設改良事業に伴う用地交渉及び現場監理用にリース車を借り上げ、円滑な用地取得と工事の品質確保を図った。					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
	算出根拠等			実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
	算出根拠等			実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
			目標値				
算出根拠等			実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	1,965	1,749	1,500	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			1,965	1,749	1,500	
コスト指標		受益者1件当たり(円)	(A/B)	21	19	16	
		受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・地域住民の利便性や安全性が向上するものであり、ニーズは非常に高い。 ・橋りょう耐震補強事業については、地震に対する市民の防災意識が高く、対策実施への要望も強い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・計画に基づき実施する市道の改良事業であるため、市が事業主体であることは妥当である。 ・国や県と交差する箇所については、施工区分協議の上実施している。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・事業推進に伴い目的は順次達成されている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・使用資材の選定や最適工法の選択等、事業実施に当たり常にコスト削減に取り組んでいる。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画に位置付けられた事業であり、地域道路網の安全性と信頼性の確保に有効に機能した。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (FA)評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地取得面積について目標を下回っている。 取得交渉の難航については、継続して地権者の理解が得られるよう交渉を行う。 新工法の積極的採用等により、継続してさらなるコスト削減に努める。
--	--

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	・今後は、新設から維持改修へのシフトや投資効果の高いものへの集中投資など、道路整備のあり方を検討していく必要がある。
-----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 継続した用地交渉の実施を行っている。 コスト削減に寄与する材料や工法の調査及び積極的採用に取り組んでいる。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良事業及び橋りょう耐震補強事業の実施に対する地域のニーズは高く、地域住民の利便性や安全性が向上するものである。 計画的な事業推進のため、地権者との交渉を継続して行い、早期の事業用地確保に努める。 				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、新設から維持改修へのシフトや投資効果の高いものへの集中投資など、道路整備のあり方を検討していく必要がある。 				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	72310	道路新設改良事業費		担当課	基盤整備部 建設課	内線
	種別					2328
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	7	土木費		分野	3 道路・交通
	項	2	道路橋りょう費		基本施策	1 便利で快適な道路環境を整備する
	目	3	道路新設改良費		施策	2 生活に身近な道路の整備
根拠計画	高山市橋りょう長寿命化修繕計画					
実施計画事業	橋りょう耐震補強事業、昭和3号線他1路線改良事業、他					
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういう状態にしたのか(意図)	・地域道路網の安全性と信頼性を確保し、道路利用者の利便性と快適性の向上を図る。		
概要	事業の実手法(手段)	・道路の新設、拡幅改良、歩道設置 ・橋りょうの架け替え、耐震補強、長寿命化修繕 ○財源 社会資本整備総合交付金(5.5/10)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・道路改良工事を実施した。 ・道路線形等について地域との合意形成を図り、用地取得を実施した。 ・橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの長寿命化修繕工事及び耐震補強工事を実施した。					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	道路完成延長	m	目標値	958	1,200	900
				実績値	1,593	1,394	-
	算出根拠等			達成率(%)	166.2	116.1	-
	活動指標	道路用地取得面積	㎡	目標値	1,407	2,955	1,746
				実績値	115	1,987	-
	算出根拠等			達成率(%)	8.1	67.2	-
	活動指標	橋りょう整備数	橋	目標値	14	8	10
				実績値	14	11	-
	算出根拠等			達成率(%)	100.0	137.5	-
	成果指標	橋りょう整備によって対策を実施した孤立集落数	箇所	目標値	8	4	2
実績値				8	4	-	
算出根拠等			達成率(%)	100.0	100.0	-	
成果指標	道路用地取得率(千島松本線・下林岡本線・石浦飯山線・昭和3号線・上切中切2号線)	%	目標値	49.0	67.0	78.0	
			実績値	36.0	59.0	-	
算出根拠等			達成率(%)	73.4	88.0	-	
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
・孤立集落対策に該当する橋りょうの整備が進んでいる。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 617,722	620,568	840,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)			461	10,000		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		272,027	329,451	405,900		
	一般財源		345,695	290,656	424,100		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 6,620	6,683	9,121		
	受益者 市民(4月1日現在)		(B) 93,312	92,861	92,097		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・地域住民の利便性や安全性が向上するものであり、ニーズは非常に高い。 ・橋りょう耐震補強事業については、地震に対する市民の防災意識が高く、対策実施への要望も強い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・計画に基づき実施する市道の改良事業であるため、市が事業主体であることは妥当である。 ・国や県と交差する箇所については、施工区分協議の上実施している。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・事業推進に伴い目的は順次達成されている。 ・指標は整備延長、箇所数で計画通り進捗している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・使用資材の選定や最適工法の選択等、事業実施に当たり常にコスト削減に取り組んでいる。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画に位置付けられた事業であり、地域道路網の安全性と信頼性の確保に有効に機能した。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・道路用地取得面積について目標を下回っている。 ・取得交渉の難航については、継続して地権者の理解が得られるよう交渉を行う。 ・新工法の積極的採用等により、継続してさらなるコスト削減に努める。
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討した上で実施する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・継続した用地交渉の実施を行っている。 ・コスト削減に寄与する材料や工法の調査及び積極的採用に取り組んでいる。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・道路改良事業及び橋りょう耐震補強事業の実施に対する地域のニーズは高く、地域住民の利便性や安全性が向上するものである。 ・計画的な事業推進のため、地権者との交渉を継続して行い、早期の事業用地確保に努める。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	72380	道路舗装新設整備事業費		担当課	基盤整備部 建設課	内線	2328
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通
	項	2	道路橋りょう費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する
	目	3	道路新設改良費		施策	2	生活に身近な道路の整備
根拠計画							
実施計画事業							
市長公約							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・町内要望箇所を主とした舗装新設により、道路の走行性や安全性の向上を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・未舗装道路の舗装新設 ○財源 社会資本整備総合交付金(5.5/10)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・舗装新設整備の施工採択基準を策定した。					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	整備箇所数	箇所	目標値	3	0	1
				実績値	3	0	-
				算出根拠等	達成率(%)	100.0	-
	成果面	算出根拠等		目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	成果面	算出根拠等		目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	成果面	算出根拠等		目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	成果面	算出根拠等		目標値			
実績値						-	
達成率(%)						-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 4,977	0	1,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		2,737				
	一般財源		2,240		1,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 53	0	11		
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 93,312	92,861	92,097		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・地域からの整備要望は非常に多い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市道の土砂流失や路肩崩落を防止する事業であり、市が実施することは妥当である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・整備が必要とされる箇所を明確にするため、舗装新設整備の施工採択基準を策定した。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・整備の必要性を十分検討し実施している。 ・使用資材の選定や最善工法の選択等、事業実施に当たり常にコスト削減に取り組んでいる。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画における生活に身近な道路の整備に寄与する事業であり有効である。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価のために何が必要なかを記入)	・舗装新設整備の施工採択基準に基づき、整備の必要性や整備範囲の検討を行う。 ・採用工法を吟味し、継続してさらなるコスト削減に努める。
--------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・舗装新設整備の施工採択基準を明確にする必要がある。
----------------------	----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域からの要望箇所内の、優先して整備を行う必要がある箇所を実施する。
-----------------	-------------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・引き続き町内要望対応を主とした整備を実施する。									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・舗装新設の施工採択基準に基づき、整備の優先度が高い箇所を計画的に実施していく必要がある。									

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	72385	側溝新設改良事業費		担当課	基盤整備部 建設課	内線	2328
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通
	項	2	道路橋りょう費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する
	目	3	道路新設改良費		施策	2	生活に身近な道路の整備
根拠計画							
実施計画事業							
市長公約							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内要望箇所を主とした側溝新設により、道路の雨水排水機能の向上を図る。 ・路肩に市有地が存する箇所においては、有効幅員の拡幅による走行性や安全性の向上を図る。 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝未整備道路の側溝新設 ○財源 社会資本整備総合交付金(5.5/10) 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝新設整備の施工採択基準を策定した。 ・要望箇所内の、施工採択基準に基づき必要と考えられる箇所について工事を実施した。 ・最適な工法の選択に当たって、維持課と協働し、修繕等での対応が有利な箇所は維持課予算にて対応した。 					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	整備箇所数	箇所	目標値	3	7	3
				実績値	3	6	-
	算出根拠等			達成率(%)	100.0	85.7	-
				目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
				目標値			
	算出根拠等			実績値			-
				達成率(%)			-
				目標値			
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
	歳出(千円)			(A) 44,602	11,709	9,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)				2,991	5,000	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			24,531	4,234		
	一般財源			20,071	4,484	4,000	
コスト指標	受益者1件当たり(円)			(A/B) 478	126	98	
	受益者 市民(4月1日現在)			(B) 93,312	92,861	92,097	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか 	A (2) ニーズが高い	A	・地域からの整備要望は非常に多い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか 	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市道からの路面排水による民地浸水被害や路肩崩落を防除し、また、蓋付の側溝を路肩に整備することで幅員を確保し市道の安全性を高める事業であり、市が実施することは妥当である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか 	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・整備が必要とされる箇所を明確にするため、側溝新設整備の施工採択基準を策定した。 ・整備が必要とされる箇所については、計画的に実施し成果があがっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か 	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	<ul style="list-style-type: none"> ・整備の必要性を十分検討し実施している。 ・使用資材の選定や最適工法の選択等、事業実施に当たり常にコスト削減に取り組んでいる。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか 	A (2) 効果があつた	A	・総合計画における生活に身近な道路の整備に寄与する事業であり有効である。
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝新設整備の施工採択基準に基づき、整備の必要性や整備範囲の検討を行う。 ・採用工法を吟味し、継続してさらなるコスト削減に努める。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・引き続き町内要望対応を主とした整備を実施する。
----------------------	--------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・必要性や採用工法を十分検討し、コスト削減に努めた整備を実施している。
-----------------	-------------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・引き続き町内要望対応を主とした整備を実施する。									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・側溝新設の施工採択基準に基づき、整備の優先度が高い箇所を計画的に実施していく必要がある。									

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	72386	県営土木事業負担金		担当課	基盤整備部 建設課	内線	2331
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通
	項	2	道路橋りょう費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する
	目	3	道路新設改良費		施策	1	機能的な道路ネットワークの形成
根拠計画							
実施計画事業 土木事業負担金							
市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります。支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・県道整備を推進することで、市道とのより良い道路網を構築し、便利で快適な道路利用を図る。 ・災害から市民の生命財産の保護を図る。		
	事業の実施手法(手段)	・市内で、県が実施する事業への受益者負担の支出		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・負担金額 63,718千円 高山土木事務所管内 51,757千円 一般国道158号(松之木町)、一般国道道361号(高根町地内)、急傾斜崩壊対策(三福寺町)他 古川土木事務所管内 11,961千円 主要地方道国府見産線(国府町、上宝町)、一般県道古川宇津江四十八滝国府線(国府町)他					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	成果指標	事業実施金額	千円	目標値	80,000	70,000	70,000
		算出根拠等		実績値	56,882	63,718	-
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	71	91	-
			目標値				
	成果指標	算出根拠等		実績値			-
			達成率(%)				-
	成果指標	算出根拠等		目標値			-
			実績値				-
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)			-
			目標値				-
	成果指標	算出根拠等		実績値			-
			達成率(%)				-
	補足事項						
・市道との一体的な道路網の構築及び安全な市民生活の確保が図られている。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	56,882	63,718	70,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源		56,882	63,718	70,000		
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	610	686	760	
受益者		市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	地域間連絡道路の役割を担う道路整備事業は便利で快適な道路利用環境向上につながり、急傾斜対策事業は安全で快適な生活環境確保が図られる等、市民生活に密接な事業である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	県事業負担金を受益者である市が負担することは妥当である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	事業の進捗に伴い目的は順次達成されている。指標は整備延長や箇所数で、事業化されたものについては県の財政状況の下最大限その推進に努力されている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	緊急性が高く利用頻度の多い箇所から整備を進めており、効率的な事業の遂行が図られている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	地域間連絡道路として、環状及び放射状に市道等と接続されていることから、機能的な道路ネットワークの形成が図られているが、整備進捗については、県の財政事情に大きく左右される。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを必要なのかを記入)	・事業進捗については、県の財政事情により速度の違いがあるため、管内の予算確保に向けた取り組みを図る。
--------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域の生活環境向上に必要な社会基盤施設の早期完成に向け、県と事業関係者との事業調整を図る。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・県事業の円滑な事業促進を図るため、地元説明会の開催及び事業関係者との良好な交渉に向けた事業調整の実施
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・地域の生活環境向上に必要な社会基盤施設の早期完成に向け、県と事業関係者との事業調整を図る。									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	(担当課評価に同じ)									

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	74310		街路事業費	担当課	基盤整備部 建設課		内線 2328
	種別						
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通
	項	4	都市計画費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する
	目	3	街路事業費		施策	1	機能的な道路ネットワークの形成
根拠計画							
実施計画事業 昭和中山線改良事業、西之一色花園線改良事業							
市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
目的	どういった状態にしたいのか(意図)	・高山駅を中心とする都市計画道路で、歩車道分離による歩行者の安全確保と車線部の2車線化による快適な通行の確保を図る。 ・無電柱化事業を実施し、駅周辺の良好な景観創造と大規模地震時の電柱倒壊等からの安全確保を図る。(西之一色花園線)		
概要	事業の実施手法(手段)	道路の拡幅改良、歩道設置 ・都市計画道路昭和中山線 L=573m W=6.0(12.0)m 両側歩道付きの2車線道路に改良 ・都市計画道路西之一色花園線 L=496m W=9.0(17.0)m 両側自転車歩行者道付きの2車線道路に改良 ○財源 社会資本整備総合交付金(5.5/10)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績		・用地交渉を行い、一部用地を取得した。(昭和中山線の用地取得契約は全て締結) ・土地収用法に基づく用地取得を実施するため、岐阜県土地収用委員会へ提出する裁決申請書類の作成を行った。 ・一部、側溝布設工事を実施した。					
			指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	道路整備延長	算出根拠等	目標値		0	0	116
				実績値		0	0	-
	活動指標	道路用地取得面積	算出根拠等	達成率(%)		-	-	-
				目標値		1,477	1,110	1,182
	活動指標	用地取得契約件数	算出根拠等	実績値		90	652	-
				達成率(%)		6.0	58.7	-
	成果指標	道路用地取得率(昭和中山線・西之一色花園線)	算出根拠等	目標値		11	12	8
				実績値		7	9	-
	成果指標	算出根拠等	達成率(%)		63.6	75.0	-	
			目標値		91.8	78.9	91.1	
	成果指標	算出根拠等	実績値		60.1	71.1	-	
			達成率(%)		65.4	90.1	-	
	成果指標	算出根拠等	目標値					
実績値						-		
成果指標	算出根拠等	達成率(%)				-		
		目標値						
成果指標	算出根拠等	実績値				-		
		達成率(%)				-		
補足事項								
・昭和中山線において、強制収用を行う準備と並行した任意交渉の結果、用地取得契約を全て締結できた。								
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額			
	歳出(千円)		(A)	45,054	270,135	345,778		
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			45,054	246,822	289,750		
	一般財源			0	23,313	56,028		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	483	2,909	3,754		
	受益者 市民(4月1日現在)		(B)	93,312	92,861	92,097		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・アンダーパスの完成等、駅周辺土地区画整理事業の進捗に伴い、当該道路利用者は増加しており、早期完成へのニーズは非常に高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・都市計画道路は市の道路計画の根幹であるため、市が主体となって計画的かつ確実に事業を進める必要がある。 ・国や県と交差する箇所については、施工区分協議の上実施している。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	(西之一色花園線) ・地権者の理解が得られず、用地取得が難航している。 引き続き、用地交渉を行い事業の早期完成に努める。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・任意交渉による用地取得が難しい事業については、実効性を確保していく必要がある。 ・使用資材の選定や最善工法の選択等、事業実施に当たり常にコスト縮減に取り組んでいる。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画及び市長公約に位置付けられた事業であり、事業進捗を図ることは有効である。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・道路用地取得面積について目標を下回っている。 ・取得交渉の難航については、継続して地権者の理解が得られるよう交渉を行うとともに、強制収用の導入を検討する。 ・新工法の積極的採用等により、継続してさらなるコスト縮減に努める。
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・整備計画に従い実施していく必要があるが、今後は投資効果の高い路線を優先的に実施する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・継続した用地交渉の実施を行っている。 ・コスト縮減に寄与する材料や工法の調査及び積極的採用に取り組んでいる。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・計画的な事業の推進のため、地権者との交渉を継続して行い、早期の道路用地取得に努める。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・整備計画に従い実施していく必要があるが、今後は投資効果の高い路線を優先的に実施する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(一般予算)

事業名	74400	中部縦貫自動車道等推進事業費		担当課	基盤整備部 建設課 中部縦貫自動車道推進室	内線	2372
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	7	土木費		分野	3	道路・交通
	項	4	都市計画費		基本施策	1	便利で快適な道路環境を整備する
	目	4	中部縦貫自動車道等推進費		施策	1	機能的な道路ネットワークの形成
根拠計画							
実施計画事業 中部縦貫自動車道整備促進事業							
市長公約 6 市民の生活と生命・財産を守ります。産業振興、交通安全、生活支援、防災等の幅広い観点から、高速交通網、地域連絡主要道路等の整備促進を国、県に対し強く要望します。							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・中部、北陸圏域への人、物の移動を円滑に行い、快適な道路の運行、利便性の高い生活を確保する。		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・同盟会を活用し、事業主体である国、県等に対して、事業促進に向けた提言活動を実施 ・長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた提言活動を実施 ・民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付 ・事業箇所の地元説明会の開催及び国・県と事業関係者との事業調整 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・中部縦貫自動車道及び国県道の事業促進に向けた提言活動の実施 ・事業主体である国が開催する地域住民への説明会の協力、調査・測量立会い					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	提言活動の回数	回	目標値	3	3	3
				実績値	3	3	-
	成果指標	算出根拠等	千円	達成率(%)	100	100	-
				目標値	1,370	1,370	3,370
		算出根拠等		実績値	943	927	-
				達成率(%)	69	68	-
		算出根拠等		目標値			-
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			-
		算出根拠等		実績値			-
				達成率(%)			-
		算出根拠等		目標値			-
実績値						-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値			-	
補足事項							
・事業実施に際し、地元関係者への説明会開催や事業調整を行うなど、円滑な事業推進の協力を行っている。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	1,136	1,115	3,660	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			1,136	1,115	3,660	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	12	12	40	
	受益者 市民(4月1日現在)		(B)	93,312	92,861	92,097	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	災害時の緊急輸送路となる高速道路のミッシングリンクの解消と、効率的な移動、輸送手段の確保に向けた喫緊のニーズがあり、今もニーズは減少していない。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	早期整備の促進に向け、関係団体と連携した活動は今後とも必要。事業に対する地域住民の意見は、隣接する市施設にも影響が及ぶため、説明会協力は必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	整備の重要性を訴える提言活動の効果は現れているが、成果指標等には直接的には現れない。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	他団体との活動内容の統廃合により、事務費の節減等の検討が必要である。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	利用者の快適性や利便性の高い生活の確保を目的とし、総合計画に位置付けられている事業であり、事業の促進は施策の推進につながる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・他団体との活動内容の統廃合により、事務費の節減等の検討が必要である。
---------------------------------------	-------------------------------------

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・早期整備促進に向け、関係団体と連携した提言活動を今後とも継続して実施する。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・早期整備促進に向け、関係団体と連携した提言活動を今後とも継続して実施する。事務費の節減等について検討する。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・早期整備促進に向け、関係団体と連携した提言活動を今後とも継続して実施する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				